

点検競技実施要領

1 審査の主眼

車両の安全を確保するための日常点検における点検動作及び点検知識について審査する。

2 競技時間・配点

【映像問題】 時間は5分とし、50点満点とする。

【実技】 時間は3分とし、150点満点とする。

3 競技の進行

【映像問題】

(1) 学科競技前に点検技能の映像問題を行う。

(2) 答案用紙に部門、選手番号、氏名を確実に記入する。

文字の不明なところがあれば手を上げて試験官に聞くこと。但し、問題の内容にふれるものには回答しない。

(3) 競技会場前面にあるプロジェクターから映像問題の出題を行う。

(4) 映像の出題内容について、答案用紙の四つの選択肢から該当するものに○をつける。

【実技】

(1) 選手は競技予定表により各自の点検競技時刻を把握し、指定場所にて待機する。

(2) 選手は係員の誘導により、開始予定時刻1分前にはそれぞれ自分が点検する競技車両正面で、安全帽を着用し、車両の方を向いて整列する。審査官の「点検始め」の合図をもって、競技当日に示す「指定点検項目」に基づき日常点検を開始する。

(3) 審査官の「点検終了」の合図をもって、直ちに点検を止め、競技車両正面で車両の方を向いて整列する。なお、制限時間終了前に点検を終えた選手は、競技車両正面で車両の方を向いて整列し、点検を終了する旨を伝えて点検を終了することができる。

(4) 点検終了後、審査官の指示により、競技車両に乗車する。

4 実技競技要領

(1) 競技当日に示す「指定点検項目」について、点検作業の審査を行う。点検順序、点検動作等は自由とする。

(2)点検中、点検内容及び点検結果を審査官に対して、わかるようにはっきり呼称する。

(3)審査官から質問を受けた場合は、その場で簡潔に応答する。

(4)指定点検項目以外の点検及び次の①～⑩の点検を行う必要はない。

- ① 車検証等携行品の確認
- ② エンジンを始動して行う点検
- ③ ラジエータ・キャップを開けて行う点検
- ④ キャブを上げて行う点検
- ⑤ エンジンオイル量の点検
- ⑥ ファンベルトの点検
- ⑦ ブレーキの空気圧力の上がり具合の点検
- ⑧ エア・タンクの凝水点検
- ⑨ 車両下部にもぐって行う点検
- ⑩ 速度表示灯の点検

(5)バッテリー等、車両装置の位置確認については、審査官に質問できる。

(6)「指定点検項目」がライト関係の場合、審査官に補助を求めることができる。

(7) 不良（故障）箇所の修復は、審査官から特に指示された場合を除き行う必要はない。

(8) 次の事項は禁止する。

- ① 審査官に対する経過時間の質問
- ② 審査官に対する点検内容の質問
- ③ 点検ハンマーによる必要以上の強打